

# 小学部高学年グループ研究

## 1. 研究グループの概要

- ・令和5年度より、小学部Iコース5、6年生を高学年グループとする。
- ・在籍児童8名(5年生5名、6年生3名)
- ・研究対象授業：音楽(主に音楽1グループ)
- ・研究グループの構成は、担任4名

## 2. 研究経過

### (1) 実態把握と授業計画

- ①『「ラーニングマップ」から学びを創りだそう』のチェックシートを用い、複数で国語・算数の実態を把握した。次に、「音楽活動のチェックリスト」(※1)に基づき、音楽の実態把握を行った。
- ②1学期の授業反省(目標、単元・題材設定、取り組み方法、評価規準、体制)を親和図法で行った。反省や課題を踏まえ、2学期以降の授業の目標、評価規準、題材を設定した。

### (2) 授業実践

研究部が示した授業実践シートを用いた。まず、単元の目標、評価規準、題材設定について検討、確認し、どんな授業にしていきたいかを簡潔に表現した。次に、授業実践を行い、器楽を中心に授業の様子をビデオに録り、複数の視点で評価や授業反省を行い、授業改善を行った。

## 3. 研究の成果と課題 目指す授業像『児童が音色、拍、リズムに気付き、自ら表現したくなる授業』

|      | 活動  | 反省   | 改善・手立て   | 結果  |
|------|---|--|--|---|
| 題材内容 | 1：8ビートに合わせた4拍子のリズムゲーム<br>2：教師が歌う『富士山』の拍に合わせて和太鼓を鳴らす活動 | ○拍に合わせる意識づけにつながった。<br><br>○歌唱で取り組んだ題材を用い、より曲の拍を意識できた。                            | ・グループ研究において、改めて共通確認を行った。                                     | ・授業の始めに「リズムゲーム」として設定することで期待感をもって取り組み、和太鼓の活動につなげることができた。<br>・学年生単の題材も意識し、教科横断的な学習を意識することができた。<br>・より妥当性がある学習評価を目指すには、一定の音源に合わせる学習も必要であった。      |
| 教材教具 | 1：PPの絵譜<br>2：宮太鼓<br>締め太鼓<br>和太鼓用バチ                    | ○児童に分かりやすく提示できた。<br>○振動や音の響きが伝わり、動作が大きいため、児童に分かりやすかった。<br>●児童の実態に応じた楽譜を提示した方がよい。 | ・絵譜の後、音符を提示した。<br>・四分音符と八分音符を加えた2種類の楽譜を用意した。<br>・太鼓の種類を考慮した。 | ・児童によっては、絵譜と音符との関連をとらえることができた。<br>・楽譜を見て、その通りに演奏できる児童もいた。児童の実態に応じて、近くで区切って提示したり、楽譜を指して確認したりする必要があった。<br>・音の大きさや楽器の提示位置、バチの長さなど、さらに考慮する必要があった。 |
| 指導方法 | 1：全員→一人ずつ順番に行く。<br>2：4人ずつに組み込む。                       | ●1段階の児童には、速度がやや速い。(J=80)<br>○児童の活動を確保することができた。<br>●個への対応が行いづらい。                  | ・四分音符のリズムは、(J=70)で、八分音符が入るリズムは(J=80)で実施した。<br>・2～3人ずつで実施した。  | ・児童に応じて速度を調整することで、取り組みやすくなった。<br>・取り組む人数を絞ることで、個に応じた対応が行いやすくなった。<br>・1と2で座席や配置を変更したが、落ち着いて授業に取り組むことができた。                                      |

### ○成果

- ・目標や手立てなどを共通理解し、客観的な学習評価につなげることができた。
- ・授業改善策を出し合うことで、児童が自分から取り組もうとする姿を引き出すことができた。
- ・他の場面でも自ら歌ったり、授業で学んだ曲を動画検索したりと、生活の中でも音や音楽に興味・関心をもつ児童がいた。

### ●課題

- ・音楽の見方・考え方を踏まえ、題材でねらいたい音楽の要素を明確にし、児童の姿を予測して目標を設定することが難しい面があり、引き続き学ぶ必要がある。
- ・実態差に応じた教材教具や指導方法について、工夫を重ねる必要がある。そのため、自立活動や国語・算数の指導を基に考えていくことも必要である。
- ・グループの構成人数が少なく、研究を深め、まとめていく過程で不十分な面も見られた。

※1 加藤博之(2007)「子どもの世界をよみとく音楽療法 特別支援教育の発達的視点を踏まえて」内のチェックリストを研究部で特別支援学校学習指導要領小学部の音楽の内容1～3段階に対応させたもの